

事業所名	パステールUKI 放課後等デイサービス				支援プログラム	作成日	2025年	3	5日
法人（事業所）理念	①子ども自身が本当にやりたい事やっていくために療育があると促え、安心安全な療育を目的とし学び実践し続ける事を理念とする。 ②支援に関わる人たちが良い日常となるために、日々感謝し自己研鑽をもって福祉に邁進することを理念とする。								
支援方針	・問題行動は子どもからのSOSと捉え、行動背景の『なぜ』を考えながら子ども達の代弁者として伝えていけるように心掛けています。 ・子ども達がしっかり学習し、よりよいコミュニケーションをするための『発達土台づくり』を目標に、その土台となる『心と体の発達』に対して支援をしていきます。『遊びから子ども達は発達する』という考えのもと、発達支援として一人ひとり、支援者（保護者様）や子ども達が『自分の人生を楽しむ事』を目標に、丁寧に関わらせていただきます。								
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	○あり	なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚刺激、呼吸遊び等を行いながら身体の土台を整え、自分で考え、選択し、行動できるよう促していきます。 ・身辺自立に向け、個々に合わせたスモールステップで取り組んでいき、出来た事を褒めていき自信につなげていきます。 ・日常生活で使う動作につながる運動（発散）を促していき、運動量の確保をしていきます。 ・ご家庭と学校と情報交換しながら、様子を確認し、様々な環境で安心安全な生活が送れるようにしていきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・『原始反射統合遊び』『多感覚アプローチ』『身体アプローチ』『感覚統合（基礎感覚）』を経験し、身体の土台作りを目指します。 ・統合遊びの中で、好きな遊びを選択し、一緒に遊びを共有し、遊びつくすことができるよう促していきます。 ・外あそびや、様々な経験の中で、感覚（五感・前庭覚・固有受容覚）を意識できるように促していきます。 ・正中線の遊び、呼吸遊びを経験し、発達の土台に繋がる遊びを行います。 ・身体アプローチや遊びの中から、固有覚のボディイメージ、力加減につながるよう支援していきます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・カードや、マッチング遊びなどやりとりを楽しみながら、もじ、かず、ちえの習得につなげていきます。 ・追視や様々なアプローチを行い視覚機能の発達を促していきます。 ・固有覚へのアプローチを行いながら、遊びの中で距離感や力加減を調整する感覚を促していきます。 ・好きな感覚や、好きな遊びを満たしていきながら、自分への気づきへと繋げていきます。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全の環境の中で自分のことについて考え、伝えていけるよう促します。 ・職員や、他児と遊びを共有しながら、一緒に遊ぶ楽しさを経験していけるようにします。 ・ひらがなカード、名前カード等を使いながら楽しんでひらがなに組み立てるようにします。 ・模倣遊びを通して他者への興味や感心を促していきます。 ・ジェスチャーや指差し、YES/NO等の表出を促し、コミュニケーション能力が獲得できるように支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな感覚や、好きな遊びを促していきながら、自分への気づきへと繋げていきます。 ・身体アプローチからなる触覚の刺激を通して、安心安全な環境と関係を積み上げていきます。 ・興味のある遊びや感覚を共有したり、色々な人とのかわりにつながる機会を提供したりしていきます。 ・自分への気づきから、自己理解、自己コントロールにつながるよう支援していきます。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・求めがちな『学習、コミュニケーション』の課題ではなく、発達に向けての土台の大切さをお伝えし、お子様の今の発達段階や、困り感の背景について情報提供を行っています。 ・家での関わり方やご家庭でできる簡単なアプローチ等、お子様に合わせた情報を提供していきます。 ・保護者との関係性を大切にし、保護者様の悩みに寄り添いながら、関係機関連携や移行支援につながるよう積極的に行っています。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進級、進学に向けてスムーズな移行ができるよう情報交換しながら支援していきます。 ・日常生活の連携に加え、本児の今の発達段階の理解や関わり方等の共有を図ります。 ・お子さんの特性に合わせた習い事や、体験活動等の提案などを行いながら地域社会への参加を促していきます。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に関するための具体策を提案していきます。 ・必要に応じて連携会議を開催し、情報収集、役割分担について協議していきます。 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な職員研修の実施を行っています。 ・各専門分野の先生からの外部研修の参加や直接的なアドバイスを受けています。 ・支援者は子どもにとっての環境要因の一つとして関わり、職員自身も『心と発達』に向けて取り組んでいきます。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・保護者研修 ・茶話会 								